



令和8年4月24日  
札幌開発建設部

## どうおうけんれんらく なかじゅりん 道央圏連絡道路（中樹林道路※）

### 開通後の交通状況をお知らせします

#### ～災害面、産業、物流、観光における効果～

令和7年3月15日に開通した道央圏連絡道路 中樹林道路の開通後の交通状況等について、お知らせします。

#### <開通区間の交通量の状況>

- 中樹林道路開通後の24時間交通量（1年平均）は、**約3,400台**でした。
- 中樹林道路の開通に伴い、道央圏連絡道路の開通済区間の交通量は、開通前と比較して**約5～8%増加**していました。

#### <開通に伴う効果>

- 令和8年1月の大雪により札幌都心部の旅行速度低下や高速道路の通行止めが発生した際、**リダンダンシー効果を発揮し、積雪に強い強靱な交通インフラ**として貢献しました。
- 道央圏連絡道路沿線地域では、企業の立地件数が堅調に推移しており、**営業倉庫が過去10年間で約16%増加**する等、地域経済・産業の活性化や輸送の効率化を支援しています。
- 道央圏連絡道路の整備によって港湾・空港アクセスが向上し、**設備投資**や付加価値の向上に向けた**ブランド化の取組みなどを支援**しています。
- 中樹林道路の整備により、貨物車等の**大型車両が中樹林道路へ転換**することで、**南幌市街の生活・交通環境が改善**しました。
- 南幌町の施設・イベントには、町外から幅広い世代の方が来場しており、**レジャー・観光アクセスを支援**しています。

・交通量等の詳細については、**別紙**をご参照ください。

※中樹林道路は、令和7年3月15日に開通した国道337号の南幌ランプ～江別太交差点間の道路です。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

道路計画課長

こばやし

さきとる

小林

暁

（電話番号 011-611-0239 ダイヤルイン）

広報官

ふくしま

しの

福島

志乃

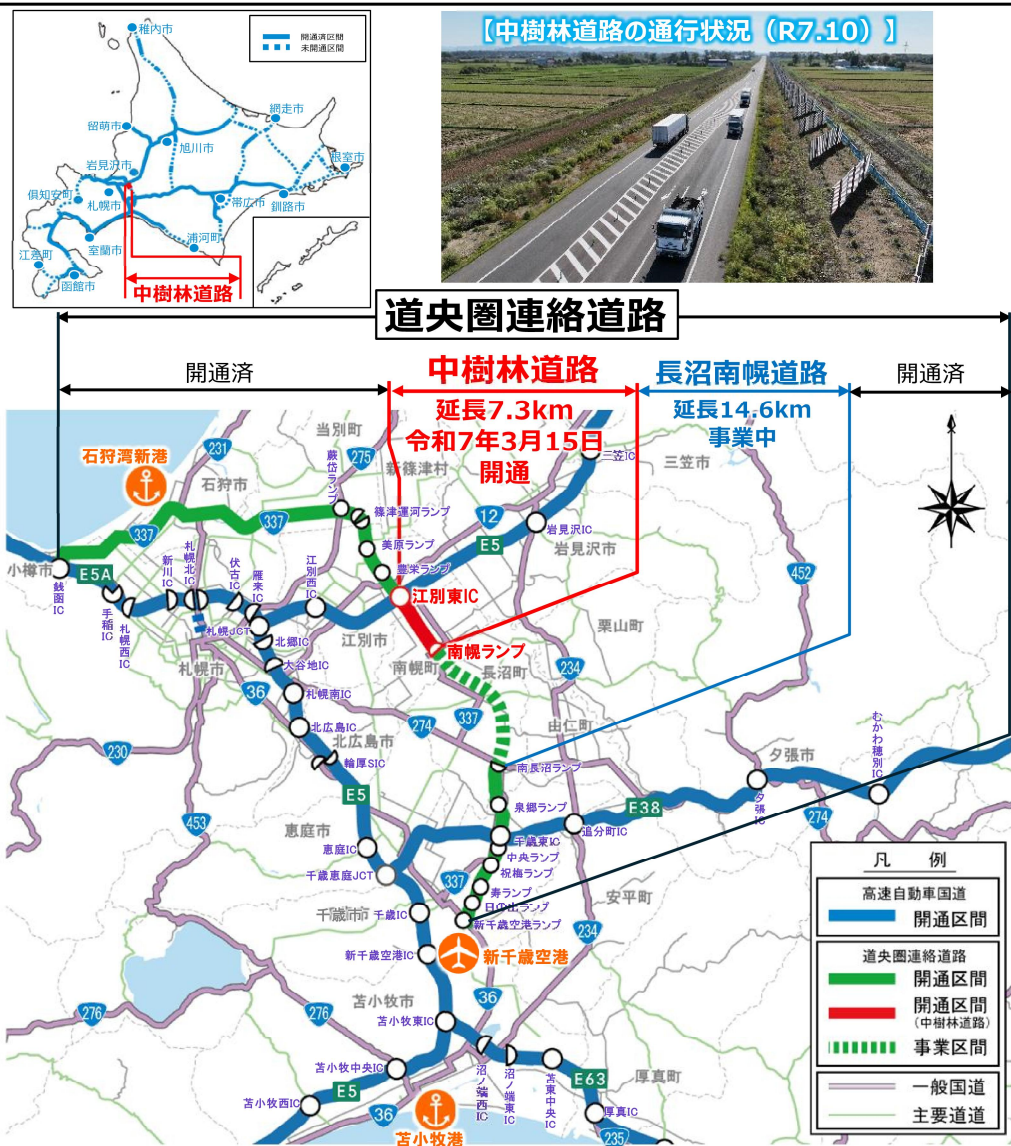
（電話番号 011-611-0279 ダイヤルイン）



札幌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/>

# 別紙 道央圏連絡道路開通後の交通状況変化

- ◆道央圏連絡道路の延伸整備により、石狩湾新港⇄苫小牧港間の所要時間は、夏期26分、冬期30分短縮。
- ◆令和6年度に開通した中樹林道路（江別東IC～南幌ランプ間）の24時間交通量（1年平均）は約**3,400台**。
- ◆中樹林道路の開通に伴い、道央圏連絡道路の開通済み区間の交通量は開通前と比較して**5～8%増加**。



## 道央圏連絡道路の整備による所要時間の変化

### 【石狩湾新港⇄苫小牧港間】

全線未整備(平成10年度)  
当別バイパス→R275→道道江別長沼線→R12→  
R337→R274→R337→道道早来千歳線→R36

夏期	139分	
冬期	154分	
夏期	113分	← 26分短縮
冬期	124分	← 30分短縮
夏期	102分	← 37分短縮
冬期	112分	← 42分短縮

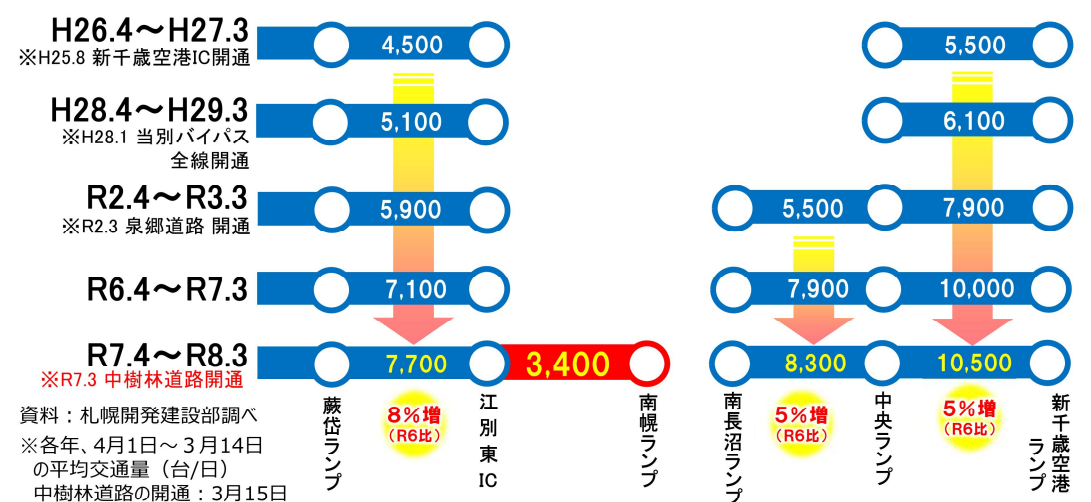
### 現状(令和8年度)

道央圏連絡道路全線整備後  
(長沼南幌道路整備後)

※地域別に、通常期と冬期の旅行速度を算出し、高規格道路と一般道路の低減率(高規格道路:0.932、一般道路:0.899)をそれぞれ算出した。(プローブデータを基に、R4.4～R6.3の通常期と冬期の旅行速度を比較して算出)

資料：令和3年度全国道路・街路交通情勢調査<国土交通省>

## 道央圏連絡道路の交通量の変化



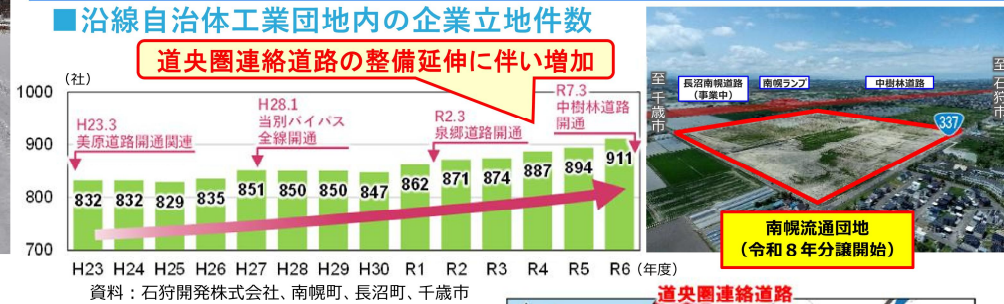
# リダンダンシー効果の発揮、地域経済・産業活性化の支援

- ◆ 24時間降雪量が1月の観測史上1位を記録した令和8年1月の大雪により、札幌都心部の旅行速度低下や高速道路の通行止めが発生した際、**道央圏連絡道路がリダンダンシー効果を発揮し、積雪に強い強靱な交通インフラ**として貢献。
- ◆ 道央圏連絡道路沿線地域では、企業の立地件数が堅調に推移しており、**営業倉庫が過去10年間で約16%増加**する等、道央圏連絡道路の整備が地域経済・産業の活性化や輸送の効率化を支援。

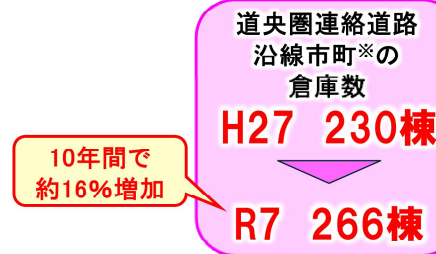
## 道央圏連絡道路のリダンダンシー効果



## 沿線地域における企業や営業倉庫の立地状況の変化



## ■ 沿線地域の営業倉庫数



## ■ 地域の声 (札幌中央卸売市場 航空貨物事業者)

- ・ 全道から札幌中央卸売市場に集まった農水産品を新千歳空港から道外へ輸送しています。
- ・ 通常は、新川ICから高速道路を通行して新千歳空港まで向かっていますが、令和8年1月末の大雪等による**高速道路の通行止めの際には、道央圏連絡道路を通行して新千歳空港に輸送**しました。

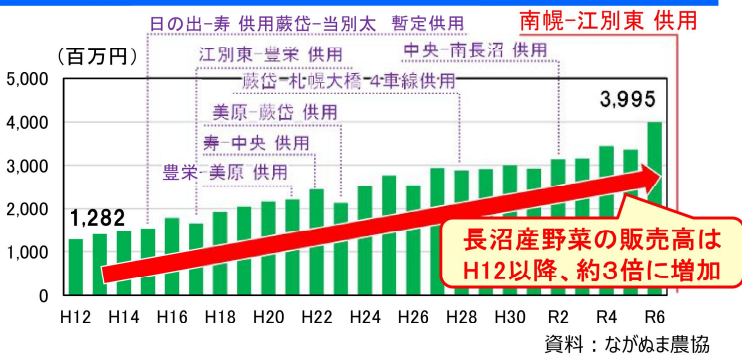
## ■ 地域の声 (本社が道外の物流事業者)

- ・ 南幌流通団地は、**道央圏連絡道路沿い**にあり、**苫小牧港・小樽港**などへの**アクセス**がよく、輸送が効率化することから、**当社が土地を購入する決め手**となりました。

# 野菜販売高の増加、道内有数の生産空間の形成等を支援

- ◆道央圏連絡道路の沿線地域は、過去25年間で野菜販売高が約3倍に増加。
- ◆道央圏連絡道路の整備によって港湾・空港アクセスが向上し、**設備投資**や付加価値の向上に向けた**ブランド化**の取組などを支援。

## ながめま農協における野菜販売高の推移



長沼産野菜の販売高はH12以降、約3倍に増加

## 道央圏連絡道路沿線地域の生産空間から本州方面への野菜の出荷状況



(長沼産ブロッコリー)

港湾・空港アクセスの向上により、物流コストが削減、荷積みの柔軟な対応が可能

## 生産性向上に向けた設備投資の推進



## TOPIC 付加価値向上に向けたブランド化の推進

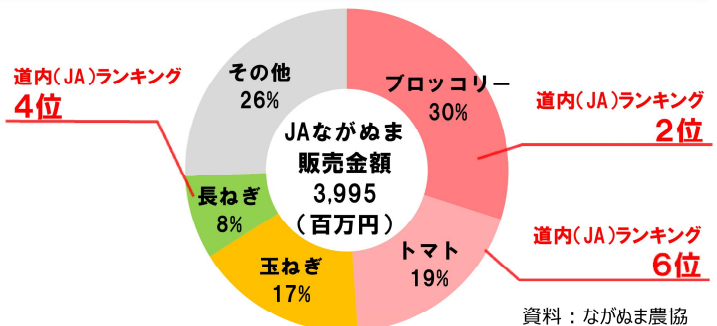
JAながめま青果物生産組織再編に伴う新たな連合組織を設立

### 新組織『MOREベジット』を設立

MOREベジットとは  
需要の高い青果物の取扱増、高需要期での販売強化、単収量の増加、作付け意欲向上等に向けた取り組みを推進する組織



## ながめま農協野菜販売高内訳 (令和6年度)



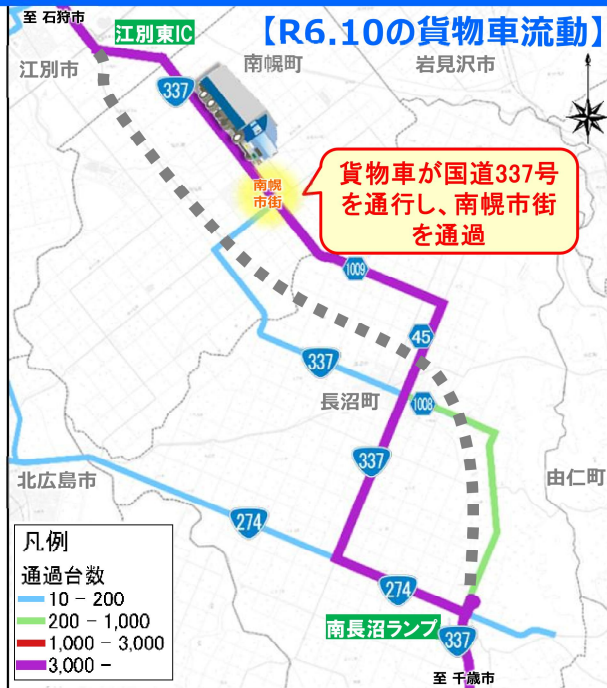
## ■地域の声 (R7.10 ながめま農協)

- ・当農協では、比較的導入費用が安く済んだ時期に多くのハウスの投資や付加価値向上に向けたブランド化の推進を行ってきました。このような取組の結果、当農協の野菜の生産量は300%の拡大となっています。
- ・大まかな試算として、道央圏連絡道路沿線の地理的優位性や、農業倉庫の集約化等の様々な取組を総合的に進めることで、他の産地と比較して1割程度は輸送費を削減できています。
- ・オペレーションの観点では、道央圏連絡道路が整備されることで、荷積み時間を遅らせることができるなど、融通が利くようになった印象があります。

# 生活・交通環境を改善

- ◆これまでの貨物車等の大型車両は、国道337号を通行し、南幌市街を通過。
- ◆中樹林道路の整備により、貨物車等の**大型車両が中樹林道路へ転換**することで、**南幌市街の生活・交通環境が改善**。

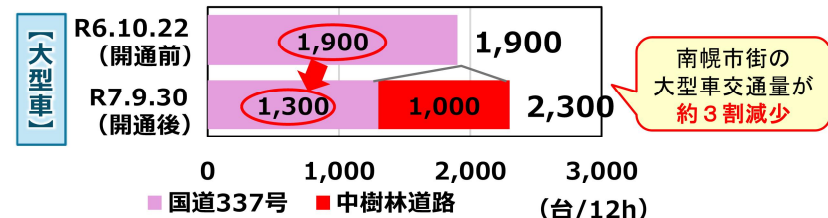
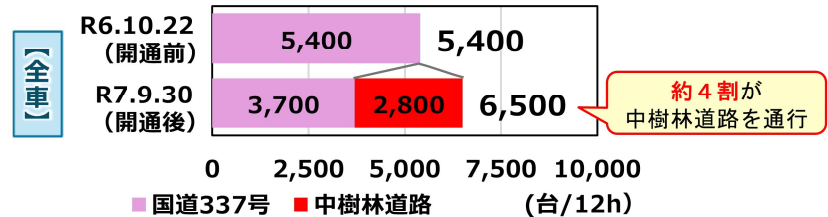
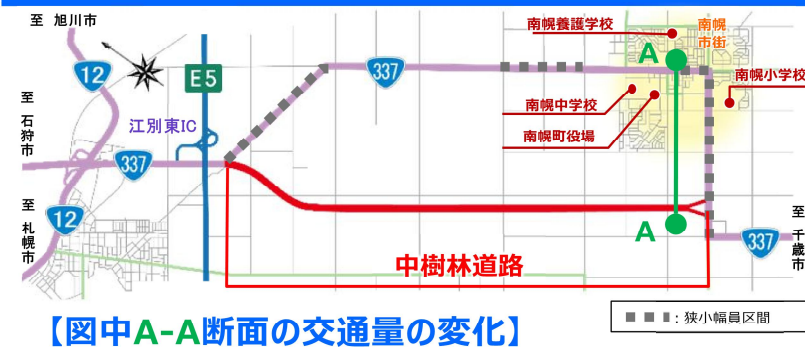
## 江別東IC – 南長沼ランプ間の貨物車流動



資料：ETC2.0プローブデータ



## 中樹林道路整備による交通量の変化



資料：札幌開発建設部調べ ※7:00~19:00 (昼間12時間)の交通量調査結果

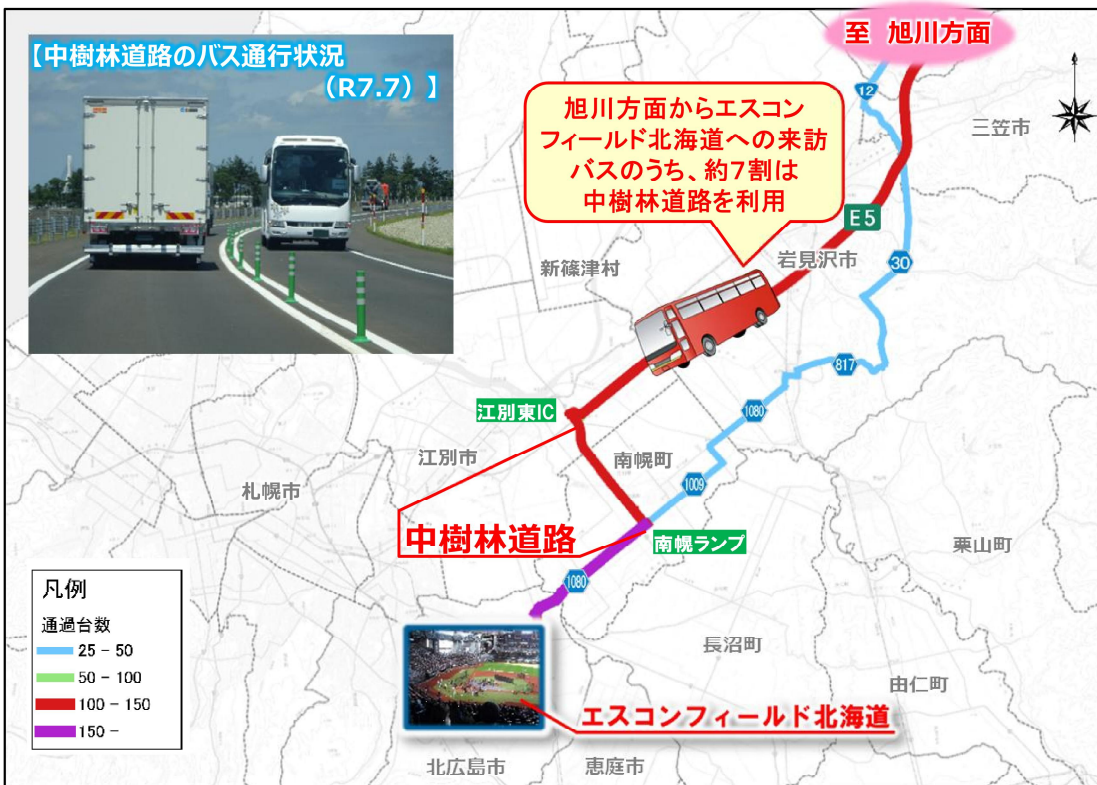
### ■地域の声 (R7.12 南幌町役場)

- ・中樹林道路が開通したことで、**トラックの通行台数が減少**したと感じています。
- ・南幌市街の**子供たちの通学環境がよくなった**と感じており、安心できます。

# 沿線地域のレジャー・観光アクセスを支援

- ◆中樹林道路は道央自動車道と連結し、旭川方面からエスコンフィールド北海道への最短ルートを形成することから、**旭川方面から来場するバスの約7割は中樹林道路を通行。**
- ◆南幌町の施設・イベントには、町外から幅広い世代の方が来場しており、**レジャー・観光アクセスを支援。**

## 旭川方面からエスコンフィールド北海道へのバスの来場状況

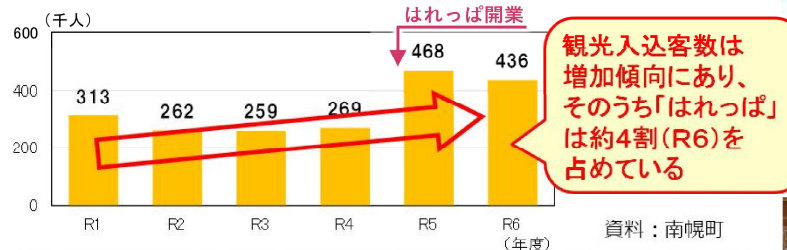


### ■地域の声 (R7.5 バス事業者)

- ・中樹林道路は、当社の日本ハムファイターズ観戦ツアーで通行しており、江別東ICで道央自動車道を降りたあと、中樹林道路を通行してFピレッジに向かっています。
- ・中樹林道路の開通により、5~10分短縮できています。

## はれっば<sup>®</sup> (南幌町子ども室内遊戯施設) への来訪ルート

### 【南幌町の観光入込客数】



南幌町の各種イベントへは、町外から幅広い世代の方が来場



資料：南幌町



### ■地域の声 (R7.10 南幌町教育委員会)

- ・土日に南幌に来訪する方々などによる南幌ランプの利用が多く、当町の「子ども室内遊戯施設 はれっば」の利用者と思われる一般車両の通行が多い印象があります。